



ERIC

ERIC 通信

0号

編集・発行 ERIC 1995.9.15.発行 年4回発行
 国際理解教育センター (ERIC) 東京都北区東田端1-14-1岩瀬ビル
 案内電話&ファックス 03-3800-9414 研修申込 03-3800-9416

SEMINOR

後期セミナーが始まります！奮ってご参加下さい。

M.E.E.T.ザ・ワールド・ プログラム研修コース

FAX情報番号071#

ERICでは参加型での国際理解教育をアジアでも推進するために、簡単な英会話でゲーム中心に指導するプログラムを開発しています。このコースではM.E.E.T.ザ・ワールド・プログラムの出前授業ができる指導ボランティアを育成することを目的としています。

M.E.E.T.はMobile Educational Exchange Teamの略号。このコース修了後、カンボジアなどへボランティアとして派遣する事業も行っています。

場所： 都立竹の台高等学校
 (荒川区東日暮里5-14-1
 JR鶯谷駅 徒歩5分)

時間： 第1回 9月23日(土)
 第2回 10月28日(土)
 第3回 11月11~12日(土~日)
 *グローバル・セミナーへの参加
 第4回 12月23日(土)

参加費： 1万円(4回分)

*セミナー参加費は郵便振替口座00180-5-710744へお振り込みください。(希望セミナー名明記のこと) お問い合わせは☎03-3800-9416研修担当まで

グローバル・セミナー'95 (第7回)

FAX情報番号072#

今年度のグローバル・セミナーのテーマはフォトランゲージ。国内外の講師を招き、写真教材を用いた参加型の具体的な手法や活動を紹介し、参加者みずから実際にプログラムや教材づくりを行います。

日程： 1995年11月11日(土) 9:00~20:00
 12日(日) 9:00~16:00

場所： 東京YMCA国際奉仕センター
 千代田区神田美土代町7-1 電話03-3293-7011

参加費： 7,000円

海外講師紹介：

ロズリン・マクドナルド (Roslyn McDonald)

現在、World Vision Australiaの教育担当職員として、教員及び学生や教育指導者に対しての、開発、援助、貧困と飢餓問題における情報提供やカリキュラム開発への提言、また教員対象の研修を行っている。シドニー大学教育博士課程在学中。過去10年間、様々な教育現場でフォトランゲージを活用している。

ERICその他のセミナー日程

ERICが講師以来を受けているものをふくむ

9月
15-19 ERICファシリテーター養成講座 PRAワークショップ 埼玉県
21 千葉県国際交流協会
24 環境教育シンポジウム'95 東京会議inいたばし
25 ERIC英文資料検索説明会 16:00~19:00 参加無料

10月		11月
4	佐賀県ステップ123	1 静岡県ステップ123
5	千葉県ステップ123	7 徳島県 〃
	八王子ヤングセミナー	15 宮城県 〃
19	八王子ヤングセミナー	16 埼玉県 〃
27	福井県ステップ123	22 青森県 〃
29	とちぎ環境教育フォーラム	30 宮崎県 〃
30	石川県ステップ123	

ステップ123は経済企画庁発行省資源省エネルギーのための活動ガイドブックの名前。この本を活用するためのリーダー研修会が各県で行われます。参加ご希望の方は各都道府県の県民生活課、環境課などへお問い合わせください。

はみだしINFO

10月17or19日D.セルビー氏(グローバル・エデュケーション国際研究所)による「環境問題と地球市民」主催：大東文化大学教育学科 板橋区高島平1-9-1 9/30までに日付を選んで往復はがきで同事務所まで申し込む。広島など地方講演あり。

ERIC 連続セミナー 国際理解教育基礎コース

95年4月から7月まで4回にわたって実施されたERIC国際理解教育基礎コース。のべ90人の方が受講されました。ファシリテーターはERIC研究会員で、研究、経験を積まれた方。そのプログラムと内容の一部をご紹介します。

第1回

4月16日「ワールド・スタディーズ」(国際理解教育全般)
ファシリテーター 山本実

1. 名刺を作って自己紹介(アイスブレイキング)
2. 参加型の国際理解教育のチャンスはどこにある?(国際理解の概念の共有化)
3. 「キヌサヤ」と友達になろう!(個性に気づく)
4. 2つのコーナー(人はそれぞれ異なる価値観をもっていることに気づく)
5. 統計ラインアップ(先入観の認識)
6. 写真を完成させる(自分の持っている偏見や先入観に気づく)
7. 性差・人種などの先入観から起こるもめごとを解決するロールプレイ(自分の身のまわりにある「対立」の原因や様々な結果について考える)
8. 偏見や先入観にとらわれないためには何が大切?(行動へ)
9. 魔法のマイク(ふりかえり)

2つのコーナー

ねらい

人はそれぞれ異なる価値観を持っていることに気づく

進め方

いくつかの命題に対して自分の意見を決め(はい・いいえ・どちらでもない)、いずれかのコーナーへ移動する。その後、理由を発表し合い意見が変わったら移動する。

- 1) 女性は男性より頭がいい?
- 2) この世の中、お金が最も大事?
- 3) どんな理由があっても銃で人を打ってはいけない。

*人の意見を聞いて考えを変える人は少なかった。何故?

*異なった意見を聞いて自分の考えが広がった。

*内容の理解は共通でも、はい・いいえが分かれる場合もある。逆もありえる。

はじめまして(アイスブレイキング)

15分

進め方

1. 自分の好きな「木」、または「植物」を思い浮かべ、その特徴や思い出、自分との関わりを紙に箇条書き(5つ)にする。
2. 2人1組になり、握手+指相撲の後、相手の紙に書いてある特徴や思い出から、その木(植物)の名前をあてる。
3. なぜ、その木(植物)を選んだのか、どんな所が気に入っているのかなどを話し合う。
4. パートナーチェンジ

第2回

5月21日「木と学ぼう」(環境)

ファシリテーター 大関健道

1. フリーウォーキング+握手+自己紹介(アイスブレイキング)
2. はじめまして(アイスブレイキング)
3. 「木」に親しむ(自分の持っている木に対する思い込みや偏見に気づく)
4. 「木」を演じる(人間と環境との関わり合いに気づく)
5. 「自然にやさしい」公園づくり(様々な価値観がある・価値観の違いを認めあう)

木を演じる

ねらい

人間と環境の関わりに気づく
演じることを通して協力して創造する事を学ぶ

進め方

- 1) グループで外へ出て、気に入った木を1つ選ぶ。
- 2) その木のようす、周りの環境などを観察する。
- 3) その木の物語をグループで考える。
- 4) 物語を寸劇にして発表する。
- 5) ふりかえり

物語の一例

「1本の夏みかん」 戦争ですべてを失った一人の女が下宿屋を始めた。ある日その下宿人が植木市で購入した「夏みかん」の植木を下宿屋の庭に植えた。夏みかんの木は成長し毎年5月には沢山の果実をつけその下宿人に季節感やビタミンCを提供した。下宿屋の建て直しで、存続の危機に直面するが、かつての下宿人でこの夏みかんのお陰で今や有名人となった人が夏みかんを受け継ぎ、「夏みかん」のエッセイを発表し、縁起の良い夏みかんとして知られるようになり、全国にこの木の種が植えられた。

「自然にやさしい」公園づくり

ねらい

- ・ 「自然にやさしい」とはどういうことか発想し合う
- ・ 様々な価値観があるということに気づき、違いを認め合い時間内でコンセンサスをとる

進め方

- 1) 「自然にやさしい」とはどういうことか全体でブレーストーミング
- 2) ブレーストーミングで出た案(①～⑤)をもとに5つのグループにわかれる。
- 3) 各グループで「自然にやさしい公園」を考え、クレヨンで模造紙に描く
- 4) その「自然にやさしい公園」づくりのために、(a)個人としてできること、(b)地域で協力してできること、(c)行政や企業にはたらきかけることという三つの観点から、今後10年間でできることを話し合い、「自然にやさしい公園」実現のためのプロジェクトを表現する
- 5) グループごとに発表する
- 6) グループでこの活動を通して「気づいたこと・感じたこと・考えたこと」についてわかち合う。

第3回、第4回については次号でご紹介します。

PROGRAM GUIDE

環境や開発について、子どもたちと参加型プログラムで考えてみたい方へ

地球っ子クラブ指導ボランティア養成講座

FAX情報番号052#

- グローバルな視点から環境及び開発について、子どもたちを指導する指導ボランティアを養成する講座です。

今年度はこの活動に対してWWF(世界自然保護基金)からの助成が適用され、研修費用の一部に当てることができます。子どもたちと学ぶ機会をお持ちのグループで指導者/リーダーの方、この機会に参加型のプログラムを学ぶ研修会を、ぜひご検討ください。

プログラムの内容は…

- 1-食べものを通して世界を見つめよう
自分たちの生活と世界のつながりと違い
- 2-究極の選択
ライフスタイルの変革に取り組むには?
- 3-地球家族-写真を使って
人間が基本的に必要とするものは
- 4-貿易ゲーム
開発、人口、環境を考える

- プログラムの体験と、実際の組立方を学ぶのに、標準6時間のコースが適当です。

プログラムの体験と分析

ファシリテーター(進行役)とは

プログラムの実際

各部約2時間の構成となります。

- 12時間コースでは、身近な自然で環境を考える「木と学ぼう」を学びます。くわしいプログラムはFAX情報番号052#にて。お問い合わせは研修部まで。

とよなか国際交流協会

阪急豊中駅から徒歩10分、閑静な住宅街にまだ新しさが残るこじんまりとしたビルが豊中国際交流協会です。施設も充実し、幅広い国際交流事業に加えて、阪神大震災以降、在日外国人被災者の支援を中心に、事業は一段と活発化し、まさに、国際化する日本を学び、体験できる機会があります。ERICにとっては、当初から国際理解教育の現場を担う心強いパートナーです。資料閲覧スペース有。阪神間のかたはぜひお訪ねになってみてはいかがでしょうか？

〒560 大阪府豊中市北桜塚3-1-28 電話06-843-4343 FAX06-843-4375

月曜休館、会館時間9:00~5:15

ブックネットにしひがし—ERICの本が手にとって読めるところ

これからや ~環境友好雑貨&道具~

エコロジー雑貨を扱っている小さなお店。本も環境関係やERICの本など環境や南北問題にこだわるお店のメッセージにあうものを置いています。NGOを通じたアジア・アフリカのグッズもいっぱい。シャプラニールの連絡事務所にもなっています。お店は小さいけれど、いろいろなイベントや集まりに本や雑貨をもってどこへでも出かけていきます。どこかの会場でみかけたら、ぜひ声をかけてください。もちろんご来店大歓迎。札幌に住む人・訪ねた人、一度のぞいてみてください。

〒003 札幌市白石区菊水3条1丁目6-12 電話/FAX 011-812-4915

日曜/祝日 休業 開店時間10:00 ~ 18:00

INFORMATION

03-3800-9414→案内テープ→情報番号#→音声または
FAXスタート

ERIC情報ボックスのごあんない

ERICの代表電話03-3800-9414が音声テープ、FAXで情報を提供する情報ボックスとなりました。電話番号と別紙にあります情報番号で必要な案内や情報を手にいれることができます。ぜひ、ご利用ください。

情報番号一覧表は随時新しいものが、002#のFAX情報で引き出せます。

！ダイヤル回線の方は受話器をトーン信号に切り替えてからご使用ください。

新着資料 (寄せられた書籍/報告書等をご紹介します)

- 書名/著者名/出版社
- 地球の未来は明るい—ボランティア&市民活動徹底ガイド/ジェフリー・ホレンダー、グループ環 (編著) /ダイヤモンド社
- 国際協力の仕事—国際協力の仕事をするための入門書 /アルク出版
- 人・まち・地球 いきいきハンドブック—環境ファシリテーター養成ガイド/(社)日本青年会議所、エコ・コミュニケーションセンター (ECOM)
- 地球環境研究NO.33地球環境財団研究奨励金・研究成果報告書 (1) (2) /財地球環境財団
- 難民Refugees特集 難民女性/UNHCR

■「ケナフからの残暑見舞づくり」(総社市立総社北小学校PTA北小リサイクルの会主催)

*これは、ERIC 編集・経済企画庁発行の省資源・省エネルギー活動ガイドブック「ステップ1・2・3」を使った研修会の報告書です。このような実践例を、ぜひ、お寄せください。

今まで、チラシやカレンダーでお送りしていたERICの情報をこのような形にまとめてみました。ご意見、ご提案などFAXでお寄せください。

ERIC広報担当

FAX 03-3800-9414